

四日市市中学校給食基本構想・基本計画
＜資料編＞

平成 30 年 12 月
四日市市教育委員会

— 目 次 —

1. 現地調査	1
1.1. 概要	1
1.2. 調査結果概要.....	1
1.3. 隣接する小学校との親子調理方式の検討.....	1
2. <給食実施方式の組み合わせ別>概算事業費の試算	3
3. <事業方式別>概算事業費の試算	4
4. <事業方式別>市の財政負担額の比較	5
5. 「四日市市中学校給食基本構想・基本計画（中間まとめ）」に関する意見募集	6
5.1. 意見募集結果概要	6
5.2. 項目別内訳	6

1. 現地調査

1.1. 概要

1.1.1. 調査目的

現地調査は、中学校において自校調理方式における給食室、親子調理方式における調理場が設置可能かどうかの現地確認を行うと共に、各学校給食実施方式の導入検討に必要な情報を整理することを目的に実施した。

1.1.2. 調査期間

平成 29 年 8 月 21 日（月）～8 月 29 日（火）

1.1.3. 調査項目

調査項目は以下のとおりである。

- ・ 敷地内の利用状況について
- ・ 周辺道路について
- ・ 生徒の動線について
- ・ 学校給食施設の配置可能性について
- ・ 既存配膳室の活用可能性について
- ・ 配送車輛の動線について
- ・ 昇降機の利用について

1.2. 調査結果概要

現地調査の結果、自校調理方式、親子調理方式が成立する学校は、橋北中学校、塩浜中学校、保々中学校、西陵中学校の 4 校であった。

1.3. 隣接する小学校との親子調理方式の検討

1.3.1. 前提条件

小学校が隣接する中学校について、小学校を親校とする親子調理方式が可能か検討を行う。

なお、献立については、文部科学省の学校給食実施基準にある通り、小学生と中学生では必要となる栄養量が異なることから、中学校と小学校は別の献立とする。（※基本方針 2 「①中学生にふさわしい献立」）

1.3.2. 隣接する小学校に設置する共同調理場について

(1) 共同調理場の整備について

新たに共同調理場を整備する場合には、現在の学校給食衛生管理基準に準拠した調理場とする必要がある。（※基本方針 1 「①適切な衛生管理環境の構築」）

- ・ 汚染作業区域（加熱前の食材を取り扱う下処理室等）と非汚染作業区域（加熱後の食材を取り扱う調理室等）を壁で区分し分離する
- ・ 子校への配送をするコンテナへの食缶の積み込み等の作業をするスペースが必要となる
- ・ 子校に給食を配送するための配送車が施設に車付けをするためのプラットホームや配送車の車寄せ等、配送車のためのスペースが必要となる

⇒ 以上のことから、これまでの給食室よりも施設規模が大きくなり、既存の小学校の給食室をそのまま活用するには、大規模な施設の増築や設備の増強が必要となる。

(2) 小学校の教育環境への影響について

- ・ 整備工事の際には騒音、安全面など小学校の教育環境に大きな影響を与える
- ・ 工事期間中は小学校の給食を提供することができなくなるため、その対応が必要となる
- ・ 整備後は児童の動線など小学校の教育環境に大きな影響を与える

(3) 用途地域について

親子方式における調理場は用途地域上、工場扱いとなるため住居系の用途地域にある楠小学校に建設する際には、建築基準法第 48 条ただし書きに規定される建築審査会の同意が必要となる。

1.3.3. 総括

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 新たに共同調理場を整備するスペースが小学校の敷地にはない2. 小学校の教育環境への影響が大きい3. 用途地域による制限がある |
|---|

以上のことから、**隣接する小学校との親子調理方式については困難**との結論に至った。

2. <給食実施方式の組み合わせ別>概算事業費の試算

・本編 P22 「4.3.5. 定量的評価」の詳細

(税込)

項目		A 案：自校調理方式＋センター方式(8,500食)		B 案：親子調理方式＋センター方式(7,000食)		C 案：センター方式(9,000食)	
		自校方式(600食)	センター方式(8,500食)	親子方式(1,950食)	センター方式(7,000食)	センター方式(9,000食)	
施設整備費	給食施設整備費	給食室整備費、調理設備費等	6.4億円	-	12.9億円	-	-
	センター整備費	センター整備費、外構整備費、調理設備費等	-	41.1億円	-	35.6億円	43.2億円
	配膳室改修費		-	3.4億円	0.6億円	2.8億円	4.0億円
	昇降機整備費		1.7億円	8.8億円	4.1億円	6.4億円	10.5億円
	附帯工事費	門扉、荷受スペース改修等	0.2億円	1.4億円	0.6億円	1.0億円	1.8億円
	小計(A)		8.3億円	54.7億円	18.2億円	45.9億円	59.5億円
	計(B)			63.0億円		64.0億円	59.5億円
運営費 (20年間)	修繕・更新費	建物、調理設備、車両等修繕更新費	2.9億円	24.7億円	7.2億円	20.7億円	26.8億円
	運営費	調理業務費、配送回収業務費、配膳業務費等	15.7億円	88.8億円	32.4億円	76.7億円	97.8億円
	小計(C)		18.6億円	113.5億円	39.5億円	97.4億円	124.6億円
	計(D)			132.1億円		136.9億円	124.6億円

(※1)

(※1)

(※1) センター整備費＋運営費＝167.8億円

小計(20年間 実施方式別：A+C)	26.9億円	168.2億円	57.7億円	143.2億円	184.1億円
概算事業費(試算)(20年間：B+D)		195.1億円		200.9億円	184.1億円

■財源内訳

国庫支出金	5.9億円	6.7億円	5.6億円
市債	35.3億円	34.6億円	31.9億円
一般財源	153.9億円	159.6億円	146.6億円

(※2) 消費税は10%として計上。端数処理のため、合計と内訳が一致しないことがある。

【参考】センター整備費と運営費の他市の実績

	調理能力(食/日)	事業方式	事業期間	落札日	落札価格(税抜)
豊田市(実績)	10,000食	PFI方式	15年間	H29.11	89.9億円
川崎市(実績)	10,000食	PFI方式	15年間	H27.9	103.7億円

3. <事業方式別>概算事業費の試算

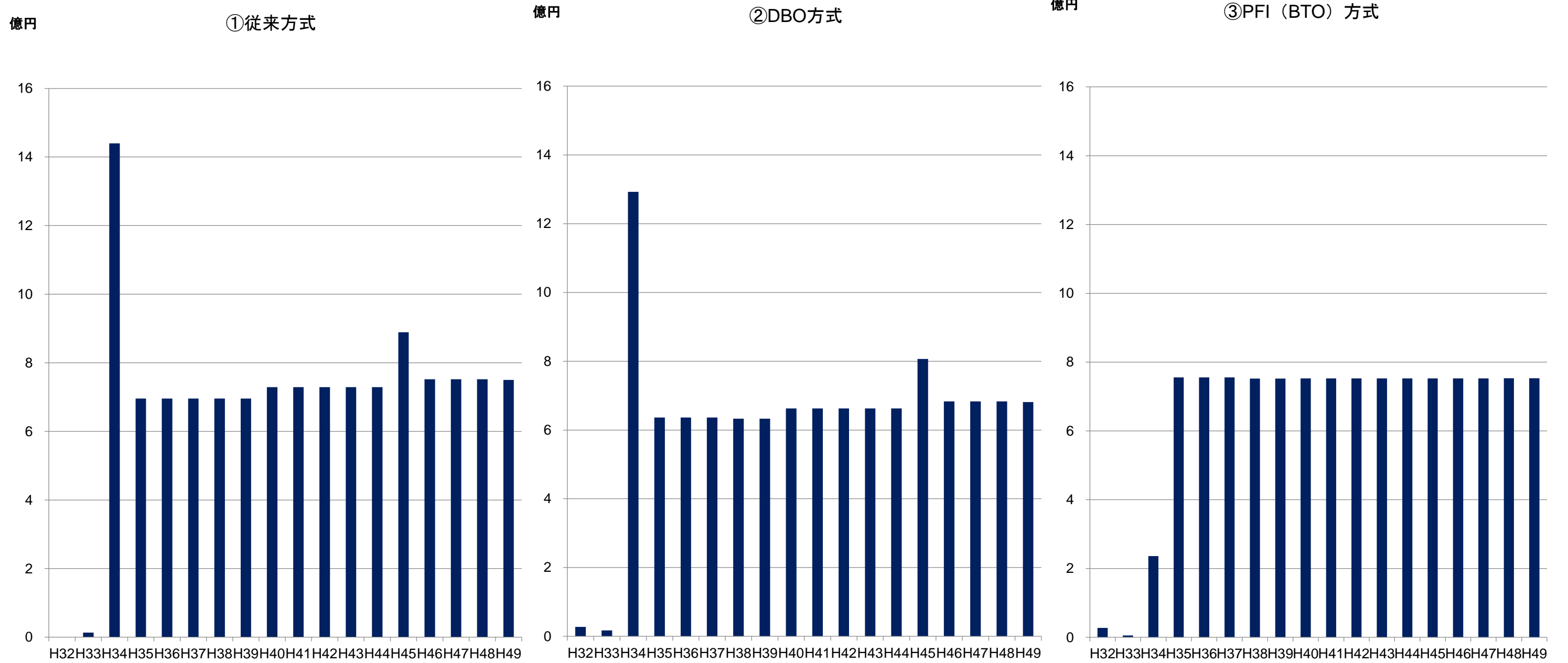
・本編 P46 「8.1.4. 事業手法の定量的評価」の詳細

(税込)

項 目		①従来方式	②DBO方式	③PFI(BT0)方式	
給食センター	施設整備費	センター整備費、外構整備費、調理設備費等	45.3億円	40.8億円	40.8億円
	15年間の維持管理・運営費	調理業務、配送・回収業務、配膳業務等	89.3億円	81.7億円	81.7億円
	SPC関係経費	初期費用、管理経費等	—	—	1.3億円
	その他	アドバイザー費、利息等	—	0.5億円	1.3億円
	小計		134.6億円	123.0億円	125.1億円
受入校 ※従来方式による整備を想定	施設整備費+15年間の維持管理費	20.2億円	20.2億円	20.2億円	
概算事業費(試算) (給食センター+受入校)		154.8億円	143.2億円	145.3億円	

4. <事業方式別>市の財政負担額の比較

・本編 P46 「8.1.4. 事業手法の定量的評価」の詳細



5. 「四日市市中学校給食基本構想・基本計画（中間まとめ）」に関する意見募集

5.1. 意見募集結果概要

- ・ 意見募集期間：平成 30 年 8 月 27 日（月）～平成 30 年 9 月 20 日（木）
- ・ 提出者数：18 人
- ・ 意見数：28 件

5.2. 項目別内訳

項目	件数
早期実施について	2 件
給食実施方式、給食センターの整備数について	15 件
給食センターの候補地について	1 件
給食センターの建設工事について	1 件
受入校の工事について	1 件
給食センターの衛生管理について	1 件
給食センターのアレルギー対応について	1 件
食育について	1 件
おいしい給食について	1 件
給食費について	2 件
日課（給食時間）について	2 件